

総合周産期母子医療センター（小児科部門）

1. スタッフ（平成28年4月1日現在）

部長（准教授）矢田ゆかり
 医員（助教）俣野 美雪
 鈴木 由芽
 病院 助教 下澤 弘憲
 他、小児科と兼務。

2. 新生児集中治療部の特徴

栃木県総合周産期センター二施設のうちのひとつとして、県で出生するハイリスク新生児を二分する形で診療している。入院する新生児の疾患は、超低出生体重児から先天異常、外科疾患など多岐にわたる。

・認定施設

日本周産期・新生児医学会基幹認定施設

・認定医

日本小児科学会認定指導医 矢田ゆかり
 日本小児科学会専門医 矢田ゆかり
 他4名
 日本周産期新生児医学会（新生児）専門医 矢田ゆかり
 他2名

3. 実績・クリニカルインディケーター

1) 年間入院患者数

432名（再転科・転入14名を除く）。院内出生392名（初診時から外来観察72名、母体搬送31名、母体外来紹介289名）、院外出生40名（病院等からの搬送36名、妊婦健診未受診妊婦からの出生4名）。

2) 人工呼吸器管理数・率

122例／432例、28.7%。

3) 生存率・死亡数など

出生体重（BW）別、在胎週数（GA）別入院数および死亡数を示す。

GA (W)	入院	生存	死亡	生存率(%)
22	-	-	-	-
23	2	2	0	100.0
24	4	4	0	100.0
25	3	2	1	66.7
26	3	3	0	100.0
27	4	4	0	100.0
28	6	6	0	100.0
29	3	3	0	100.0
30	11	11	0	100.0
31	12	12	0	100.0

32	16	15	1	93.8
33	17	17	0	100.0
34	26	25	1	96.2
35	17	17	0	100.0
36	27	26	1	96.3
37以上	281	279	2	99.3
計	432	426	6	98.6

BW (g)	入院	生存	死亡	生存率(%)
<500	2	1	1	50.0
<1000	21	21	0	100.0
<1500	33	31	2	93.9
<2000	58	56	2	96.6
<2500	75	75	0	100.0
>2500	243	242	1	99.6
計	432	426	6	98.6

4) 死亡症例内訳

在胎40週	低出生体重児、18トリソミー、心室中隔欠損、心房中隔欠損
在胎36週	極低出生体重児、18トリソミー、心室中隔欠損、心房中隔欠損
在胎32週	極低出生体重児、重症仮死、18トリソミー、食道閉鎖、心室中隔欠損
在胎41週	低出生体重児、18トリソミー、Fallot四徴
在胎25週	超低出生体重児（334g）、重症仮死
在胎34週	非免疫性胎児水腫、肺形成不全、多発関節拘縮

5) 先天性心疾患児入院例

有意な血行動態異常を呈する中等症・重症例34例。PICU転科22例、NICUから退院8例、NICU内死亡4例。

6) 多胎入院数

80名（18.5%）。

7) 外科症例数（手術例のみ）

のべ27例。他に光凝固2例。

8) 他院への搬送

8例。いずれも状態安定後に搬送元等の病院に転院。

4. 事業計画・来年の目標など

総合周産期母子医療センターとして、産科部門との連携をより充実させ、ハイリスク症例に対応していく。また県内の総合周産期センターである獨協医大、および関連の地域周産期センターと協力・連携しながら、栃木県、北関東地域の周産期医療の充実を図る。さらに周産期・新生児医学会認定施設として、専門医の育成に力を注ぎたい。